



人生100年時代の
健康管理

桐生大学 桐生大学短期大学部副学長
山科 章

(135) 入浴関連死つて何ですか？

【プロフィル】広島県生まれ。1976年広島大学医学部卒業後、聖路加国際病院内科勤務。99年東京医科大学循環器内科主任教授。2020年から現職。総合内科専門医、日本循環器学会専門医、元日本循環器疾患学会理事長

「寒い冬の夜は漁船で漁網を撒く。漁網に漁獲され、漁師が死んでしまうことが多い」というのが、約7割は溺死によるものだといわれています。浴槽内の不慮の溺水による死亡事故も、毎年多く発生する現状です。

と推定されています。
ちなみに、22年の交通事故死者数は2610

室内	脱衣所	浴室	浴槽内
			
暖	寒	寒	熱

出典: 第6回 沿岸の事故に要注意 - 政府広報オンライン(https://www.gov-online.go.jp/useful/article/202111_1.html = 転載許可不要)からの引用

は、高齢者にとっては危険です。浴槽での溺死率は、浴室での脳卒中の心筋梗塞などに次いで死を防ぐため、入浴関連死率は年々減少傾向であります。しかし、入浴中の急死を調べた厚労省の2011年の研究報告で、入浴関連死率は年々減少傾向であります。そのため、このほどが高齢者で、高齢人口は増加傾向であり、最近は万人を超えてい

つ
る
よ先は、年代が
入
かるにつれて増加して
失
おり、57歳以
高齢者に増加す
く
る
ま。どの年代も似て
る
に多く、男女間の差は
年齢が上がるに連れ
て
あがっています。
内熟者のアルコールによ
り、血中濃度を調べた報告では、酔
いの呼(めいてじべる)の50mg/dl以上であ
る例が20%近くで、この半数の学生
(例が20%近くで、この半数の学生
のほとんどが男性でした)
たが国の75歳以下の人口死亡率は、
他の諸国と比較して
と
て
10倍近くです。温か
し
湯湯まで酒があること
日本独特の入浴文化の
が関係といますが、

化による急
動が主な原
因で、浴槽内
の溺れ死や、
濡衣を着て水
に落ちて死んで
しまうことがあります。
体温から冷
え刺激を受け、
体温を下げる
ために、血管
を縮め、血
液の循環を止
めてしまうこと
で、心臓が止
まってしまうと
死んでしまう
のです。

中や大動脈解離、心筋梗塞などの病気が起こります。11月～2月の時頃がピートショックの好発時期です。昔ながらの日本家屋では、床がたてで暖房設備がない場所も多いので、温度差が生じやすくなります。
「レインズ」浴室以外でも、温度変化のある場所には要注意です。気温が下がるにつれて、体温も下がるため、寒さに我慢しないで、お風呂を浴びるなどして体温を保つことが大切です。

◆毎週月曜連載 桐生大学・桐生大学短期大学部副学長の山科章さんは、同大学医療保健学部の学生などに講義も開講している。



がらの日本家屋では、床がタイルで暖房設備がない場所も多いので、温度差が生じやすくなっています。